

固定資産台帳(R3.3.31現在)の概要

固定資産台帳は、事業を行うための資産及び道路・河川などのインフラ施設等の固定資産について、その取得と除却処分までの情報を把握・管理するとともに、全国統一的な基準に基づく財務書類の前提となっているものです。

本県の有形固定資産の合計では、取得価額が2兆8,098億円、減価償却累計額が1兆1,864億円、差引きの現在簿価額が1兆6,234億円となっております。

また、現在簿価額のうち、事業用資産が4,566億円、インフラ資産が1兆1,546億円、物品が122億円となっております。

なお、有形固定資産(土地、立木竹、建設仮勘定等の非償却資産を除く)の取得価額に対する減価償却累計額の割合を「有形固定資産減価償却率」といい、耐用年数に対してどの程度経過しているのかを把握することができますが、本県においては50.0%となっております。

(単位:百万円)

	取得価額	減価償却累計額	現在簿価
事業用資産	669,743	213,124	456,619
土地	155,654	0	155,654
立木竹	137,951	0	137,951
建物	349,739	198,545	151,194
工作物	23,541	14,100	9,441
船舶	0	0	0
浮標等	0	0	0
航空機	2,394	479	1,915
その他	0	0	0
建設仮勘定	464	0	464
インフラ資産	2,121,297	966,678	1,154,618
土地	117,138	0	117,138
建物	26,905	15,275	11,630
工作物	1,952,717	951,403	1,001,314
その他	53	0	53
建設仮勘定	24,484	0	24,484
物品	18,772	6,575	12,196
有形固定資産合計	2,809,812	1,186,378	1,623,433

※ 表示単位未満四捨五入の関係で積上げと合計が一致しない場合がある。

$$\star \text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{減価償却累計額}(1,186,378\text{百万円})}{\text{土地・立木竹・建設仮勘定を除く取得価額}(2,374,121\text{百万円})}$$